

矢賀 学区だより

第423号 (毎月1回)
平成30年 8月 1日
編集発行
矢賀学区連合町内会
矢賀学区社会福祉協議会

西日本豪雨災害

矢賀学区避難場所開設

台風7号が過ぎた後も、梅雨前線が停滞し広島県に記録的な大雨を降らし、各地に被害が発生しました。

矢賀学区でも、七月六日から大雨が降り始め二丁目で土砂崩れ、三丁目では水路に土砂が溜まり、水や土砂が道路に溢れ地域の人や東消防団矢賀分団員が土のうを積み、住宅への侵入を防ぎました。

矢賀学区自主防災会連合会も大雨警報・土砂災害危険箇所発令を受け矢賀中央集会所・矢賀新町集会所に避難場所として開設しました。

夜になると、大雨特別警報・避難指示が発令され一時、矢賀小学校体育館周辺及びJR芸備線沿いの道路が膝下まで浸水している中を65名の方が避難されました。

翌朝には、雨も上がり避難された方も無事に帰宅されました。

矢賀学区自主防災会連合会では、九月二日(日)に避難訓練・防災訓練を行います。多数のご参加をお願いします。

矢賀学区自主防災会連合会

会長 正田修一



道路に溢れた土砂



道端に積まれた土のう



避難場所開設(矢賀中央集会所)

八月五日(日)開催予定の
夏祭り・追悼盆踊り大会は
中止します

連日30度を超える真夏日が続いており、この暑さは暫く続くと思われまます。今年の夏祭り・追悼盆踊り大会はこの暑さを考え、非常に残念ですが中止することになりました。皆様のご理解をいただきますよう、お願いします。

夏祭り・追悼盆踊り大会実行委員会

矢賀学区社会福祉協議会 矢賀学区連合町内会 八月～十月の主な行事予定

※8月1日(水)平和公園一斉清掃
7時～ 平和公園

※9月2日(日)矢賀学区避難訓練

9時～ 矢賀小学校
※9月9日(日)敬老会

11時～ 矢賀中央集会所

※9月22日(土)矢賀まつり

17時～ 矢賀小学校

※10月6日(土)東区散乱ゴミ

追放キャンペーン

詳細は後報

※10月17日(水)クリーンマイタウン

一葉

14時10分矢賀小学校集合

※10月20日(土)東区青少年健全

育成大会

10時～ 区民文化センター

※10月21日(日)男崎神社秋季大祭

矢賀学区だより編集委員会



小学校だより

この度の西日本豪雨災害において被害に遭われた皆様に関心からお見舞いを申し上げます。七月六日(金)の夕方から夜にかけての雨で、小学校の中庭も膝下くらいまでつかったと聞きました。私は、安佐北区の高陽町に住んでいるのですが、帰るのがもう少し遅かったら、帰宅できなかつたかもしれない。予測できないほどの大雨になりました。

矢賀中央集会所に避難所が開設され、自主防災会の正田さんを中心に一生懸命運営をされていきました。正田さんは四日間、避難所の運営をされたと聞き、感謝の念を強く持ちました。また、消防団の皆さんも水につかて立ち往生した車を救出されたり、危険箇所を点検をされたり、地域の安全を守るために活躍されたと聞いています。

避難場所については、昨年度から、小学校の体育館から矢賀中央集会所に変更になりました。エアコンが設置されていること、畳の部屋もあること等避難されるみなさんが少しでもよい環境で過ごせるようにという

配慮からです。当事者の気持ちにより添つての対応は、学校を預かっている私も学ばなければいけないと感じました。

このような災害は、いつどこで起こるか分かりません。子どもたちにも自分の身は自分で守れるように学校教育の中で力をつけていかなければならないと痛感しました。十一月に「ふれ愛・イン・やが&防災フェア」があります。この行事を活用して防災教育を充実させていきたいと考えています。

最後になりましたが、三丁目で通学路に土砂が堆積して通れなくなるときに、板を渡して通れるようにしてください。登校時に見守りをしてくださったりした地域の皆様にご心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

八月の行事

4日(土)水泳記録会

(五・六・六年児童有志参加)

6日(月)授業日 平和の集い

13日(月)～15日(水)

今年度から実施される

施策。

この3日間は、学校にはだれもいません。

- 26日(日)美化作業
- 29日(水)学校保健委員会
- 30日(木)三時間授業
- 31日(金)三時間授業



平和学習の様子

広島市立矢賀小学校

校長 原 徹

幼稚園だより

「夏たよ プールだよ」

矢賀幼稚園の夏は、なんとと言ってもプールです。

今年も矢賀小学校のご厚意で、小

プールをお借りすることができました。幼稚園にも一応プールはあるのですが、丸い組み立てプールで、組み立てるのも水を入れるのも掃除をするのもそれはそれは大変で、おまけに設置すると園庭は狭くなる上に泥だらけ。そんなわけで、小学校のプールをお借りできるのはとても有り難いことです。小プールといつても園児たちには十分な広さで、循環式なので、とても気持ちがいい。本当にありがとうございます。

今年も快諾していただき、6月中旬から少しずつ準備をします。給食時間帯にお借りするので、まずその時間に間に合うようにお弁当を食べ、終えること。そして、水着に着替え、帽子をかぶること。シャワーをあびても平気になること。体を拭くこと。濡れた水着の後始末。水遊びをしなから、毎日一つずつ指導し、経験し、慣れていきます。

そして、待ちに待ったプール開き。水鉄砲でくす玉を割ったり、事故が起きない魔法の水を注ぎ入れたりして、いよいよプールに入ります。

子供たちの歓声が大空に響き、太陽に負けない笑顔が弾けます。水を

得た魚、と言いますが、プールには、子供たちの最高の笑顔を引き出す力があるようです。



夏だよ プールだよ

先日、西日本を中心に発生した豪雨災害では、身近でも大きな被害がありました。犠牲になられた方々のことを思うと、胸が痛みます。復旧の道のりは遠く長いと思いますが、幼い子供たちの笑顔は、その道のりに希望のあかりをともしることでしょう。無邪気にはしゃぐ子供たちの笑顔を見るとそんな気がしてきます。

背中にくつきりとした水着の跡が消える頃には、復旧の道のりのゴールが見えていますように。そう願わずにはいられない今年の夏です。

八月の行事

8日(水)わくわくランド

広島市立矢賀幼稚園

園長 井筒 敦子

児童館だより

七月の豪雨災害では、たくさん地域で被害があり、また多くの方がお亡くなりになりました。心よりお悔やみ申し上げます。また、一日も早く、通常の暮らしが戻るよう願つてやみません。このたびの災害を通して、子どもたちの命をどのようを守っていくのか、担当課と協議しながらしっかりと対応できるよう、職員一同取り組んでいきたいと思っております。

七月十二日(木)、三十名の子どもたち

が、3回目のオセロ教室に参加しました。学年を問わず、対戦相手を見つけて、2回、対戦します。コマを置く様子を見ていると、それぞれ個性豊かです。低学年はまだまだ、次

の一手を予測して置くことは難しいようですが、それでも一つでも多くコマをひっくり返そうと必死です。たて、横、斜めのラインをよく見てね、と声をかけますが、まだまだ難しいです。これが、大会前の来年二月くらいになると、少しづつ戦略らしきものが見えてくるようになります。また、いかに角をとるか、ということも意識してきます。もつと、上手になると、序盤は、対戦相手にたくさんコマを取らせ、後半に一気にひっくり返していく、という展開をしていく教室はありませんが、日々の遊びの中でも、相手を見つけて練習する姿も多く見られます。また、ボランティアの伊藤先生にもご指導いただき、毎回腕をあげています。こうして三月に行われるオセロ大会では、学年を超え、大変白熱した対戦になることもあります。毎年、子どもたちの成長を見るのは私たち職員も、とても楽しみにしています。

今年度より、放課後児童クラブは八時〜十八時三十分の開所となっております。登下中の子どもたちを見か

けられましたら、見守りをよろしく
お願いいたします。

八月の行事

23日(木)夏休み親子工作

(粘土で作る貯金箱)

矢賀地域活動クラブ主催

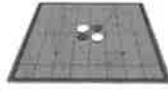
夏休み期間中の児童館開館時間

平日 12時～18時30分、

土・日曜日 10時～16時

広島市矢賀児童館

館長 大濱 美保子



こんにちは

保健師です

七月五日からの豪雨により被災
された皆さまに心からお見舞い申し
上げます。

今月は、保健センターの事業で感
じたことをお伝えします。

東保健センターでは、小中学生が、

子育てオープンスペースにおいて乳幼
児やその保護者とのふれあい体験を
することで、生命の尊さや人がお互
いに支え合うことの大切さを実感で
きることを目的として、乳幼児と小
中学生とのふれあい体験事業を実施
しています。

今年度も、六月に矢賀小学校の元
気な5年生が体験しました。

この事業は、体験前に助産師から、
出産や赤ちゃんの成長について話を
聞き、その後、乳幼児とその保護者
とふれあいます。

体験後の小学生の感想では、赤ち
ゃんがかわいいという感想だけでな
く、「大事に育ててもらっていたんだ」
という自分の親への感謝の言葉もあ
りました。自分自身の成長や親との
関わりの大切さを感じているようで
す。

また、乳幼児の保護者の感想では、
小学生の優しさに触れ、将来の我が
子の姿を想像して、「こんな風に、思
いやりのある子に育てほしい」といっ
た意見もあり、保護者にとつても貴
重な体験になっているようです。

小学生は赤ちゃんや保護者を通
して、自分や家族について考え、乳幼

児の保護者は、小学生を通して、わ
が子の将来について考える…ライフス
テージは、点と点がつながって、線に
なるんだなとしみじみ感じました。

高齢化社会と言われる一方で、漫
画「サザエさん」にあるようなおじい
ちゃん・おばあちゃんと一緒に暮ら
している子どもたちは少なくなりま
した。高齢者世帯、核家族化が進み、
それぞれの世代で抱える問題も多様
化しています。様々な世代が共に活
動し、お互いを理解していく交流世
代間交流」が求められています。世
代間交流によつて子どもたちは多く
の人間関係の中から様々なことを学
び、高齢者はその能力、経験を社会
的に活用することで社会的孤立を防
ぐことが可能だといわれています。

地域を理解し、そこに住んでいる
人々の気持ちに寄り添いながら地域
の世代間交流を進めていくことは、
それぞれの世代への理解を深め、東
区が目指す地域共生社会の実現に
むけて地域が活性化するのではない
でしょうか。

厚くお礼申し上げます。
ご寄付いただきましたご芳志は、
町内の住民福祉のため有効に使用さ
せていただきます。

この度、喪主彌宜元澄枝様から生
前何かとお世話になったお礼にと、
金一封を本会にご寄付いただきました。
◎去る五月三十日、矢賀三丁目
の正田紘基様のご逝去になりました。

この度、喪主彌宜元澄枝様から生
前何かとお世話になったお礼にと、
金一封を本会にご寄付いただきました。

社会福祉協議会へ

温かいご寄付

ありがとうございます



矢賀学区社会福祉協議会

会長 山本 和登

広島市東保健センター

榎崎 尚子